

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	精神看護学概論			担当講師	専任教員	
学科名	学 年	ク ラ ス	単 位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期	
第二看護学科	1年		1 (20)	講義	令和5年前期	
<b>科目目標</b>						
1) 心の構造・機能・発達, 心の健康について理解する。 2) 現代社会における特徴と心の病, 心の健康づくりについて理解する。 3) 精神看護の基本となる理論について理解する。 4) 精神保健福祉の変遷を歴史的・社会的・医療的な視点から学び, 社会資源について理解する。 5) 精神看護における倫理と人権擁護について理解する。						
<b>授業概要</b>						
精神の健全な発達, 精神の健康を維持・増進するための看護の基本と, 理論を学習する。						
<b>卒業時到達目標との関連</b>						
DP- ①・②・3・4・5・⑥・7・8・9・10・11・12						
回数	時間数	授 業 内 容		回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1 こころ・心・精神の健康 1) 心と精神 2) 脳の構造とこころ 3) こころの働き 4) 自我の発達		10	2	8 精神科における倫理と人権 事例を用いた検討
2	2	2 精神保健と精神障害の予防		11		
3	2	3 現代社会と精神的問題 1) 自殺対策基本法 4 リエゾン精神看護		12		
4	2	5 精神看護の基本となる理論 1) 対人関係モデル フロイト, ペプロウ, トラベルビー		13		
5	2	6 精神看護の基本となる理論 2) ストレングス, リカバリー, エンパワメント		14		
6	2	7 精神保健医療福祉 1) 精神医療・看護の歴史と法律の変遷		15		
7	2	7 精神保健医療福祉 2) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法)		<b>【テキスト・参考書】</b> ◆テキスト 精神看護の基礎 (医学書院) 精神看護の展開 (医学書院) ◆参考文献 系統看護学講座 基礎分野 心理学 もっとよくわかる! 脳神経科学 メンタル ステータス イグザミネーションV o l . 1		
8	2	7 精神保健医療福祉 3) 社会資源の活用 (障害者総合支援法)				
9	2	8 精神科における倫理と人権 1) 患者の人権擁護 2) 精神科における人権擁護と倫理的問題		<b>【成績評価の方法】</b> ■ 筆記試験 ■ レポート ■ ワークへの参加度		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	精神援助論 I			担当講師	専任教員	
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期	
第二看護学科	1年		1 (30)	講義	令和5年前期	
<b>科目目標</b>						
1) コミュニケーション技術の基本を踏まえ、患者－看護師関係について理解できる。 2) 対人関係構築のための治療的コミュニケーション技術について理解できる。 3) 他者理解のための自己理解の必要性が理解できる。 4) プロセスレコードの記述と分析を通して、自己洞察、自己理解の意義を理解できる。 5) 機器も出ると危機看護介入、現代社会の危機について理解できる。 6) 精神に障害のある人の対象理解と看護を導きだす過程を学ぶ。						
<b>授業概要</b>						
科目の前半は精神看護の基盤となるコミュニケーション技術、自己洞察の意義と方法を学ぶ。後半は危機状態にある人の理解と看護、精神に障害のある人の看護の考え方について学ぶ。						
<b>卒業時到達目標との関連</b>						
DP- 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12						
回数	時間数	授 業 内 容		回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1 コミュニケーション技法 1) 精神看護学における対象の特徴とケアの原則 2) コミュニケーション技法		10	2	6 場における危機 3) 職場
2	2	2 治療的コミュニケーション技術 1) 治療的関わりの基本 2) 受容、傾聴、共感、自己一致 3) プロッキング、転移、逆転移		11	2	7 精神に障害のある人の理解と看護 1) 精神に障害のある人の特徴 2) 精神科看護の特徴 3) 精神状態のアセスメント ①観察の方法と視点 ②精神状態のアセスメント ③情報収集と総合的アセスメント
3	2	4) 自己理解、自己受容、自己開示		12	2	8 精神に障害のある人の理解と看護の方向性(看護過程) 1) 事例の全体像把握
4	2	3 プロセスレコードと再構成 1) 自己洞察の意義 2) プロセスレコードの目的と方法 3) プロセスレコードの書き方		13	2	8 精神に障害のある人の理解と看護の方向性(看護過程) 2) 情報整理とアセスメント(常在条件)
5	2	4) 再構成の実際 他者のプロセスレコードから学ぶ 5) プロセスレコードの記入		14	2	8 精神に障害のある人の理解と看護の方向性(看護過程) 3) 情報整理とアセスメント(病理的状态)
6	2	4 危機理論 危機の特徴、危機の種類、危機の過程 危機の予防、危機を回避する要因、危機介入		15	2	8 精神に障害のある人の理解と看護の方向性(看護過程) 4) 看護の方向性
7	2			【テキスト・参考書】 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の基礎(医学書院) ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の展開(医学書院)		
8	2	5 危機モデル フィンク、アギュララ 6 場における危機 1) 家族・家庭				
9	2	6 場における危機 2) 学校		【成績評価の方法】  ■ 筆記試験 ■ レポート ■ ワークへの参加度		